

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 7 月 16 日 (2009.7.16)

【公開番号】特開 2005-293113 (P2005-293113A)  
 【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-041  
 【出願番号】特願 2004-105927 (P2004-105927)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/30 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 2 0 B

G 0 6 F 17/30 1 7 0 J

G 0 6 F 17/30 3 8 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶されている辞書記憶手段と、

見出語が意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶されている類語辞書記憶手段と、

検索文字列を指定する指定手段と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記指定手段により指定された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、一覧表示する制御を行う一覧表示制御手段と、

この一覧表示制御手段により一覧表示された類語の中から一の類語を選択する類語選択手段と、

この類語選択手段により選択された類語に適合する見出語を前記辞書記憶手段に記憶されている辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して表示する制御を行う説明情報表示制御手段と、

を備えることを特徴とする情報表示制御装置。

【請求項 2】

所定の文字順序規則に従った前記類語辞書情報中の見出語の順序を記述した順序情報を記憶する順序記憶手段を更に備え、

前記一覧表示制御手段は、

前記指定手段により指定された検索文字列に適合する見出語を所定位置に表示し、この見出語を基準として、前記順序記憶手段に記憶された順序情報に従った順序で、前記類語辞書情報中の見出語のうちの所定数の見出語を表示する制御を行う類語見出語表示制御手段と、

この類語見出語表示制御手段により表示制御された見出語の中からユーザの選択操作に従って一の見出語を選択する選択手段と、

を有し、前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記選択手段により選択された見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出して一覧表示する制御を行う手段である、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報表示制御装置。

【請求項 3】

前記選択手段により選択された見出語を第 1 の見出語とし、前記説明情報表示制御手段により前記辞書情報から検索された見出語を第 2 の見出語として対応付けて記憶する蓄積記憶手段と、

前記蓄積記憶手段に記憶された、対応づけられている第 1 の見出語と第 2 の見出語との組を一覧表示する制御を行い、選択操作によって選択された組の第 2 の見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して表示する制御を行う蓄積見出語選択表示制御手段と、

を更に備えることを特徴とする請求項 2 に記載の情報表示制御装置。

【請求項 4】

前記類語辞書記憶手段は、見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ、当該見出語の意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶されており、

前記一覧表示制御手段は、類語とともに、その類語に対応する説明情報の全部又は一部を前記類語辞書情報から読み出して表示する制御を行う類語説明情報表示制御手段を有することを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載の情報表示制御装置。

【請求項 5】

前記一覧表示制御手段は、前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記指定手段により指定された検索文字列に適合する見出語に近い方の見出語から順に表示する制御を行う表示順制御手段を有することを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の情報表示制御装置。

【請求項 6】

前記一覧表示制御手段は、一覧表示する類語それぞれについて、当該類語が前記辞書情報中の見出語となっているか否かを判定し、各類語について、その判定結果に応じた識別表示を行う制御をする識別表示制御手段を有することを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の情報表示制御装置。

【請求項 7】

前記一覧表示制御手段は、前記辞書情報中の見出語となっているか否かを判定することにより、見出語となっている類語のみを一覧表示する手段であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載の情報表示制御装置。

【請求項 8】

前記説明情報表示制御手段は、読み出した説明情報を第 1 のサイズの表示領域に表示する制御を行う手段であり、

前記類語選択手段は、

前記一覧表示制御手段により一覧表示された類語の中から一の候補類語を選択する候補選択手段と、

この候補選択手段により選択された候補類語に適合する見出語を前記辞書記憶手段に記憶されている辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して、前記第 1 のサイズより狭小な第 2 のサイズの表示領域に表示する制御を行うプレビュー表示制御手段と、

を有する、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 7 の何れか一項に記載の情報表示制御装置。

【請求項 9】

所定の通信回線を介して利用者端末と通信可能に接続されたサーバにおいて、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶されている辞書記憶手段と、

見出語が意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶されている類語辞書記憶手段と、

前記利用者端末から検索文字列を受信する検索文字列受信手段と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記検索文字列受信手段により受信された検索文

字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、前記利用者端末に送信する制御を行う類語送信制御手段と、

前記利用者端末から一の類語を受信する選択類語受信手段と、

この選択類語受信手段により受信された類語に適合する見出語を前記辞書記憶手段に記憶されている辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して前記利用者端末に送信する制御を行う説明情報送信制御手段と、

を備えることを特徴とするサーバ。

【請求項 10】

コンピュータに、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶する辞書記憶機能と、

見出語を意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶する類語辞書記憶機能と

、

検索文字列を指定する指定機能と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記指定機能により指定された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、一覧表示する制御を行う一覧表示制御機能と、

この一覧表示制御機能により一覧表示された類語の中から一の類語を選択する類語選択機能と、

この類語選択機能により選択された類語に適合する見出語を前記辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して表示する制御を行う説明情報表示制御機能と、

を実現させるためのプログラム。

【請求項 11】

所定の通信回線を介して利用者端末と通信可能に接続されたコンピュータに、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶する辞書記憶機能と、

見出語を意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶する類語辞書記憶機能と

、

前記利用者端末から検索文字列を受信する検索文字列受信機能と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記検索文字列受信機能により受信された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、前記利用者端末に送信する制御を行う類語送信制御機能と、

前記利用者端末から一の類語を受信する選択類語受信機能と、

この選択類語受信機能により受信された類語に適合する見出語を前記辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して前記利用者端末に送信する制御を行う説明情報送信制御機能と、

を実現させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

かかる課題を解決するため請求項 3 に記載の情報表示制御装置においては、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶されている辞書記憶手段と、

見出語が意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶されている類語辞書記憶手段と、

検索文字列を指定する指定手段と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記指定手段により指定された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、一覧表示する制御を行う一覧表示制御手段と、

この一覧表示制御手段により一覧表示された類語の中から一の類語を選択する類語選択手段と、

この類語選択手段により選択された類語に適合する見出語を前記辞書記憶手段に記憶されている辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して表示する制御を行う説明情報表示制御手段と、

を備えることを特徴としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

また、請求項 2 に記載の情報表示制御装置においては、請求項 1 に記載の情報表示制御装置において、

所定の文字順序規則に従った前記類語辞書情報中の見出語の順序を記述した順序情報を記憶する順序記憶手段を更に備え、

前記一覧表示制御手段は、

前記指定手段により指定された検索文字列に適合する見出語を所定位置に表示し、この見出語を基準として、前記順序記憶手段に記憶された順序情報に従った順序で、前記類語辞書情報中の見出語のうちの所定数の見出語を表示する制御を行う類語見出語表示制御手段と、

この類語見出語表示制御手段により表示制御された見出語の中からユーザの選択操作に従って一の見出語を選択する選択手段と、

を有し、前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記選択手段により選択された見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出して一覧表示する制御を行う手段である、ことを特徴としている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

また、請求項 3 に記載の情報表示制御装置においては、請求項 2 に記載の情報表示制御装置において、

前記選択手段により選択された見出語を第 1 の見出語とし、前記説明情報表示制御手段により前記辞書情報から検索された見出語を第 2 の見出語として対応付けて記憶する蓄積記憶手段と、

前記蓄積記憶手段に記憶された、対応づけられている第1の見出語と第2の見出語との組を一覧表示する制御を行い、選択操作によって選択された組の第2の見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して表示する制御を行う蓄積見出語選択表示制御手段と、

を更に備えることを特徴としている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、請求項4に記載の情報表示制御装置においては、請求項1～3の何れか一項に記載の情報表示制御装置において、

前記類語辞書記憶手段は、見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ、当該見出語の意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶されており、

前記一覧表示制御手段は、類語とともに、その類語に対応する説明情報の全部又は一部を前記類語辞書情報から読み出して表示する制御を行う類語説明情報表示制御手段を有することを特徴としている。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、請求項5に記載の情報表示制御装置においては、請求項1～4の何れか一項に記載の情報表示制御装置において、

前記一覧表示制御手段は、前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記指定手段により指定された検索文字列に適合する見出語に近い方の見出語から順に表示する制御を行う表示順制御手段を有することを特徴としている。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、請求項6に記載の情報表示制御装置においては、請求項1～5の何れか一項に記載の情報表示制御装置において、

前記一覧表示制御手段は、一覧表示する類語それぞれについて、当該類語が前記辞書情報中の見出語となっているか否かを判定し、各類語について、その判定結果に応じた識別表示を行う制御をする識別表示制御手段を有することを特徴としている。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、請求項7に記載の情報表示制御装置においては、請求項1～6の何れか一項に記載の情報表示制御装置において、

前記一覧表示制御手段は、前記辞書情報中の見出語となっているか否かを判定することにより、見出語となっている類語のみを一覧表示する手段であることを特徴としている。

## 【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

また、請求項8に記載の情報表示制御装置においては、請求項 1 ~ 7の何れか一項に記載の情報表示制御装置において、

前記説明情報表示制御手段は、読み出した説明情報を第 1 のサイズの表示領域に表示する制御を行う手段であり、

前記類語選択手段は、

前記一覧表示制御手段により一覧表示された類語の中から一の候補類語を選択する候補選択手段と、

この候補選択手段により選択された候補類語に適合する見出語を前記辞書記憶手段に記憶されている辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して、前記第 1 のサイズより狭小な第 2 のサイズの表示領域に表示する制御を行うプレビュー表示制御手段と、

を有する、

ことを特徴としている。

## 【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

また、請求項9に記載のサーバにおいては、

所定の通信回線を介して利用者端末と通信可能に接続されたサーバにおいて、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶されている辞書記憶手段と、

見出語が意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶されている類語辞書記憶手段と、

前記利用者端末から検索文字列を受信する検索文字列受信手段と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記検索文字列受信手段により受信された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、前記利用者端末に送信する制御を行う類語送信制御手段と、

前記利用者端末から一の類語を受信する選択類語受信手段と、

この選択類語受信手段により受信された類語に適合する見出語を前記辞書記憶手段に記憶されている辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して前記利用者端末に送信する制御を行う説明情報送信制御手段と、

を備えることを特徴としている。

## 【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

また、請求項 10 に記載のプログラムにおいては、

コンピュータに、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶する辞書記憶機能と、

見出語を意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶する類語辞書記憶機能と

、  
検索文字列を指定する指定機能と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記指定機能により指定された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、一覧表示する制御を行う一覧表示制御機能と、

この一覧表示制御機能により一覧表示された類語の中から一の類語を選択する類語選択機能と、

この類語選択機能により選択された類語に適合する見出語を前記辞書情報から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して表示する制御を行う説明情報表示制御機能と、

を実現させることを特徴としている。

## 【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

また、請求項 11 に記載のプログラムにおいては、

所定の通信回線を介して利用者端末と通信可能に接続されたコンピュータに、

見出語と当該見出語の説明情報とが対応付けられ辞書情報として記憶する辞書記憶機能と、

見出語を意味上の類縁性に従った順で類語辞書情報として記憶する類語辞書記憶機能と

、  
前記利用者端末から検索文字列を受信する検索文字列受信機能と、

前記類語辞書情報中の見出語のうち、前記検索文字列受信機能により受信された検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語を類語として抽出し、前記利用者端末に送信する制御を行う類語送信制御機能と、

前記利用者端末から一の類語を受信する選択類語受信機能と、

この選択類語受信機能により受信された類語に適合する見出語を前記辞書情報の中から検索し、検索した見出語に対応する説明情報を前記辞書情報から読み出して前記利用者端末に送信する制御を行う説明情報送信制御機能と、

を実現させることを特徴としている。

## 【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 7】

また、請求項 1 に記載の情報表示制御装置及び請求項 1 0 に記載のプログラムによれば、検索文字列に適合する見出語の前後所定範囲内に有る見出語が一覧表示され、この一覧表示された類語の中から一の類語を選択させるようになされ、選択された類語に適合する見出語に対応する説明情報が辞書情報から読み出されて表示される。

従って、ユーザ自ら検索文字列に対応する類語を類語辞書情報から検索し、更に自ら類語に対応する説明情報を辞書情報から検索するといった手間をユーザに強いることがない。

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 3

【補正方法】 削除



【補正の内容】

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【補正の内容】